

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																			
大阪医療技術学園専門学校	平成21年3月1日	磯橋 文秀	〒530-0044 大阪市北区東天満2丁目1-30 (電話) 06-6354-2501																			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																			
学校法人大阪滋慶学園	昭和62年3月1日	浮舟 邦彦	〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目2-43 (電話) 06-6150-1301																			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																		
医療	医療専門課程	東洋医療技術教員養成学科	平成6年文部科学省 告示第84号	-																		
学科の目的	東洋医療の特質や将来に向けて取り組むべき課題を明確に表現できる人材を養成し、次世代の東洋医療技術者の養成及びはり師、きゅう師等を養成する教員を育成する事を目的とする。																					
認定年月日	平成26年3月31日																					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験																
2	年	1845時間	510時間	450時間	1410時間	0時間																
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																	
40人	9人	0人	3人	18人	21人																	
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 試験の成績、学習状況、出席状況等																		
長期休み	■夏季:8月1日～8月20日 ■冬季:12月25日～1月5日		卒業・進級 条件	各学期における試験評価 試験評価60点以上 授業日数の3分の2以上の出席 等																		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 学則に基づき補講対応		課外活動	■課外活動の種類 球技大会、体育祭、文化祭 等																		
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(平成28年度卒業生) 国際東洋医療学院 等		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業者に係る平成29年5月1日時点の情報)																		
	■就職指導内容 キャリアセンターと担任が中心となって個別面談を繰り返し、 就職試験対策・支援を行う。			<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はり師・きゅう師養成 機関教員資格</td> <td>①</td> <td>10人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	はり師・きゅう師養成 機関教員資格	①	10人	10人								
	資格・検定名	種		受験者数	合格者数																	
	はり師・きゅう師養成 機関教員資格	①		10人	10人																	
■卒業生数 10 人 ■就職希望者数 10 人 ■就職者数 10 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 %		※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当する か記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																				
■その他 (平成 28 年度卒業者に係る 平成29年5月1日 時点の情報)		■自由記述欄																				
中途退学 の現状	■中途退学者 0 名 平成28年4月1日時点において、在学者15名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者15名(平成29年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の原因		■中退率 0 %																			
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 無 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象(前年度実績:3名)																					
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 評価団体: 私立専門学校等評価研究機構 受審年月日: 平成24年3月31日 URL: http://www.ocmt.ac.jp/daisansya/																					
当該学科の ホームページ URL	URL: http://www.ocmt.ac.jp/																					

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

学校法人大阪滋慶学園として、教育課程編成委員会規程を定め実施する。教育課程の編成において、病院・施設・企業・業界団体等の意見を活かし、必要なる最新の知識・技術を反映させるための連携体制等に学校は勤める事を方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

学校は、教育課程編成委員会の意見を参考に、教育課程の編成にあたる。作成した教育課程は、毎年、学校長の承認のもと、理事会の了承を得る。承認を経た教育課程は教育課程編成委員会に告知する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年6月30日現在

名前	所属	任期	種別
橋本 勝信	学校法人 大阪滋慶学園 常務理事	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	
磯橋 文秀	大阪医療技術学園専門学校 学校長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	
中道 真樹	大阪医療技術学園専門学校 事務局次長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	
金田 太吾	大阪医療技術学園専門学校 教務部長/鍼灸師学科、鍼灸美容学科科長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	
松田 貴文	大阪医療技術学園専門学校 医療秘書・情報学科学科長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	
松良 尚子	大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科学科長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	
飯塚 稔	大阪医療技術学園専門学校 医療心理科学科長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	
鈴木 次郎	大阪医療技術学園専門学校 薬業科学科長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	
奈良 上真	大阪医療技術学園専門学校 東洋医療技術教員養成学科学科長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	
小川 れい	大阪医療技術学園専門学校 言語聴覚士学科昼間部学科長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	
藤本 光輝	大阪医療技術学園専門学校 言語聴覚士学科夜間部学科長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	
石本 良之	医療秘書教育全国協議会 事務局長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	①
西 基之	一般財団法人住友病院 医事室副室長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	③
中林 利克	武庫川女子大学 薬学部薬学科学科長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	②
今中 伸行	株式会社協和商事 取締役社長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	③
田畑 泰弘	大阪府臨床検査技師会 常務理事	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	①
樋口 武史	彦根市立病院 臨床検査科科長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	③
松岡 武次	公益社団法人大阪府鍼灸師会 組織担当理事	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	①
牛島 文享	ウシジマ鍼灸院 院長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	③
松村 裕基	株式会社プレビグ 代表取締役(ゆう鍼灸整骨院 院長)	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	③
西川 洋子	西川洋子鍼灸院 院長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	③
山口 羊一	奈良県言語聴覚士会 理事	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	①
江原 加寿子	高井クリニック 言語聴覚士	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	③
梶栗 麗子	北大阪病院 言語聴覚士	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	③
中川 るみ	アミューズメントバリアフリー協会 理事長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	①
西川 孝	NPO法人 東成精神障害者を支える会 理事長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回の実施(毎年6月、1月)

(開催日時)

第1回 平成28年6月28日 18:30～20:00

第2回 平成29年1月26日 18:30～20:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

医療人としての教育と教育者としての人間力向上の2点について話題になった。本校では鍼灸学会等での発表している学生も多くいる現状から特に、人間力向上に目を向けていく時期に差し掛かっていると指摘を受けた。そこで、本年度から読解力検定とサービス接遇検定の取得を目指す事で対応する。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

スペシャリストが求められる時代に即し、業界に直結した専門学校として、即戦力となる知識・技術を教授し、学生一人一人の個性を最大限に活かしながらそれぞれの業界で力を発揮できるような教育システムを構築して、人に感動を与え、ビジネスマインドに富んだ仕事ができる人材を各業界との連携のもと養成することを基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

学外の鍼灸治療院で実践的臨床を学ぶことにより、多くの臨床経験を構築する。実習内容は実践的鍼灸治療の理論・技術および医療面接技術、患者様とのコミュニケーション技術などを学び、実習日誌に日々の実習での気づきを記録し、実習先の指導者とのカンファレンスで実習評価を行う。また、教育実習では学校で学んだ教育に関する知識・技術を教育の現場において一定期間「教員としての実務」に就き、教員としての実践的経験を構築する。実習内容は授業の準備、授業の実践、授業の振り返りを行い、実践授業の教材観、指導観などで実習評価を行う。実習状況や評価については実習先の担当者と連絡を密に取り、進めていく。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
教育実習	教育実習事前学習、実地授業、教育実習の振り返りを行う。	大阪医療技術学園専門学校、森ノ宮医療学園専門学校、トライデントスポーツ医療看護専門学校
はりきゆう臨床実習Ⅱ	医療・福祉・スポーツの分野において鍼灸治療を行っている施設にてインターンシップ実習を行う。	新城針灸治療院、いおり鍼灸院、南はり灸院、川端鍼灸治療院、松田明聖堂鍼灸院 等 計7施設
あま指臨床実習	臨床実習施設にて、臨床実技実習を行う。外部インターンシップ実習を行う。	リハビリ指圧治療院

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

研修等は、学校法人大阪滋慶学園として、教員研修規程を定め実施する。教員の研修は計画を立て行い、教員の授業内容・方法及びクラス運営方法を改善し向上させると共に、マネジメント能力を含む指導力の習得、向上をさせるために行う。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

○業界研修① 平成28年6月10日～12日 全日本鍼灸学会主催 全日本鍼灸学会学術大会特別講演 専任教員1名参加 内容:鍼灸外来で役立つプライマリケアとフィジカルアセスメントについて
 ○業界研修② 平成28年11月6日 世界鍼灸学会連合会主催 世界鍼灸学会連合会学術大会基調講演 専任教員1名参加 内容:鍼灸の臨床研究プラットフォーム構想とその実践
 ○業界研修③ 平成28年11月23日 全日本鍼灸学会主催 全日本鍼灸学会近畿学術集会特別講演 専任教員1名参加 内容:日本鍼灸の特質とこれからの社会における鍼灸療法の役割について

②指導力の修得・向上のための研修等

○教育研修 平成28年7月9日 滋慶教育科学研究所主催 JESC国家試験対策研修会 専任教員1名参加 内容:国家試験の現状と教育指導のあり方について

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

○業界研修① 平成29年6月10日～11日 全日本鍼灸学会主催 全日本鍼灸学会学術大会教育講演 専任教員1名参加 内容:日本鍼灸の形成と変遷について
 ○業界研修② 平成29年10月1日 日本小児はり学会主催 日本小児はり学会学術大会教育講演 専任教員1名参加 内容:日本鍼灸を取り巻く国内外の状況と小児はりについて
 ○業界研修③ 平成29年10月8～9日 日本鍼灸師会主催 日本鍼灸師会学術大会特別講演 専任教員1名参加 内容:統合医療の未来～Integrative Medicine(医療モデル)からIntegrative Health(社会モデル)へ～
 ○業界研修④ 平成29年11月19日 全日本鍼灸学会鍼灸学会 全日本鍼灸学会近畿学術集会特別講演 専任教員1名参加 内容:超高齢社会における高齢者医療の課題について

②指導力の修得・向上のための研修等

○教育研修① 平成29年8月19日～20日 北里研究所附属東洋医学総合研究所主催 鍼灸学校教員の為の古典講座 専任教員1名参加 内容:中国古典医学と陰陽五行説について

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校法人大阪滋慶学園として、学校関係者評価委員会規程を定め実施する。評価委員会は、自己点検・自己評価の客観性・透明性を高め、学校の利害関係者の学校運営への理解促進や連携協力による学校運営の改善を基本方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	理念・目的・育成人材像は定められているか 等
(2)学校運営	運営方針は定められているか 等
(3)教育活動	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか 等
(4)学修成果	就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか 等
(5)学生支援	就職に関する体制は整備されているか
(6)教育環境	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか 等
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動は、適正に行われているか 等
(8)財務	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか 等
(9)法令等の遵守	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか 等
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか 等
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

鍼灸師の有資格者である在校生が、地域貢献の一環としてボランティア活動等に参加することは非常に有用であると意見を頂いた。これから教育者になる事を踏まえても効果があると考え、今年度から大阪府鍼灸師会と連携して、北区を中心として参加できる活動には積極的に学生に案内をしている。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年6月30日現在

名前	所属	任期	種別
西 基之	一般財団法人住友病院 医事室副室長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	企業等委員
今中 伸行	株式会社協和商事 取締役社長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	企業等委員
牛島 文享	ウシジマ鍼灸院 院長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	企業等委員
田畑 泰弘	大阪府臨床検査技師会 常務理事	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	企業等委員
山口 羊一	奈良県言語聴覚士会 理事	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	企業等委員
西川 孝	NPO法人 東成精神障害者を支える会 理事長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	企業等委員
久徳 健三	大阪市北区堀川連合振興町会 会長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	地域
近田 直人	教育研究所所長(元平野高校教頭)	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	高等学校
野入 英治	卒業生	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	卒業生
采井 章浩	卒業生	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	卒業生
藤本 知恵	保護者	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	PTA

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他() ()

URL: <http://www.ocmt.ac.jp/>

毎年6月末公開予定

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校法人大阪滋慶学園として、情報公開規程を定め実施する。学校が保有する情報の公開及び開示に関し必要な事項を定め、当該情報を積極的に公開することにより、学園の教育活動や取り組みについて広く社会に対する説明責任を果たすとともに、公正で透明性の高い運営を推進し、教育活動の改善や社会全体からの信頼の獲得に資することを方針とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の沿革 等
(2)各学科等の教育	各学科の教科目標 等
(3)教職員	教職員数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職支援の取り組み 等
(5)様々な教育活動・教育環境	サポートシステム 等
(6)学生の生活支援	学生マンション 等
(7)学生納付金・修学支援	納付金 等
(8)学校の財務	財務状況 等
(9)学校評価	自己点検・自己評価 等
(10)国際連携の状況	国際教育の取り組み 等
(11)その他	社会学連携 等

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

ホームページ

URL: <http://www.ocmt.ac.jp/>

授業科目等の概要

(医療専門課程 東洋医療技術教員養成学科) 平成29年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
○			保健体育Ⅰ	保健体育概論について学習する。	1 前	30	2	○			○			○		
○			保健体育Ⅱ	運動指導者論などについて学習する。	2 後	30	1		○		○				○	
○			教育学概論	教育の基本について学習する。	1 前	30	2	○			○				○	
○			教育心理学Ⅰ	学習意欲、学習行動、学習指導等について学ぶ。	1 前	30	2	○			○				○	
○			教育心理学Ⅱ	教育者に必要なカウンセリング能力について学習する。	1 後	30	2	○			○				○	
○			教育方法Ⅰ	教育方法の基本について学習する。	1 後	30	2	○			○				○	
○			教育方法Ⅱ	学習指導案の作成について学習する。	2 前	30	1		○		○				○	
○			教育方法Ⅲ	模擬授業形式で学習指導案を作成し、授業実践する。	2 前	30	1		○		○				○	
○			教育実習	教育実習事前学習、実地授業、教育実習の振り返りを行う。	2 後	180	4				○	○		○		○
○			人体形態学論Ⅰ (解剖学)	人体形態学の基礎知識を学習する。	1 前	30	2	○			○				○	
○			人体形態学論Ⅱ (解剖学)	人体形態学の教育に必要な知識を学習する。	1 後	15	1				○	○			○	

○		共通臨床実習 I	東洋医療の診察技法、治療技法について学習する。	1通	120	4			○	○	○		
○		共通臨床実習 II	東洋医療の診察技法、治療技法について学習する。	1前	60	2			○	○	○		
○		共通臨床実習 III	東洋医療の診察技法、治療技法について学習する。	1後	60	2			○	○	○		
○		はりきゅう臨床実習 I	附属鍼灸センターにおいて治療を行う。カンファレンスを行う。	2通	240	8			○	○	○		
○		はりきゅう臨床実習 II	医療・福祉・スポーツの分野において鍼灸治療を行っている施設にてインターンシップ実習を行う。	2前	120	4			○	○	○	○	
	○	あま指臨床実習	臨床実習施設にて、臨床実技実習を行う。外部インターンシップ実習を行う。	1通 2通	270	9			○	○		○	○
○		経営管理学	医療経営学の基本を学習する。	2後	30	2	○		○		○		
○		卒業論文	研究テーマの決定、文献検索、プロトコール作成、研究実践、報告、論文作成の一連の研究方法を学習する。	1後 2通	90	3		○	○		○		
合計				47科目	2370単位時間 (94単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
各学期末に行う試験・実習等の成果を総合的に勘案して行う。また、所定の授業日数の3分の1以上の欠席をしたものはその評価を受ける事ができない。	1 学年の学期区分	2期	
	1 学期の授業期間	15週	

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。